



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社
コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (COO) (氏名) 鈴木 俊郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務本部長 (氏名) 村上 淳一 TEL 03-3453-5111
四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	82,994	45.5	4,247	215.5	2,934	155.8	2,160	173.7
2022年3月期第2四半期	57,047	5.7	1,346	140.9	1,147	139.3	789	115.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,638百万円 (386.0%) 2022年3月期第2四半期 954百万円 (237.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	177.30	—
2022年3月期第2四半期	45.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	96,217	34,472	35.8
2022年3月期	72,809	30,683	42.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 34,405百万円 2022年3月期 30,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	70.00	100.00
2023年3月期	—	30.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	105.00	135.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 2022年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 20円00銭 (創立70周年記念配当)

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,600	25.9	6,200	47.3	4,500	26.4	3,300	30.7	270.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	16,281,373株	2022年3月期	16,281,373株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,088,899株	2022年3月期	4,097,789株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	12,185,566株	2022年3月期2Q	17,309,495株

(注) 期末自己株式数には、取締役（社外取締役を除く）を対象とする業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2023年3月期2Q 123,800株、2022年3月期 132,800株）が含まれております。また、本信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期2Q 130,784株、2022年3月期2Q 132,800株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、いわゆるウィズコロナを前提とした経済活動の正常化が進んだ一方、世界的な物価高やロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高、各国の金融引き締め等を背景に景気の減速懸念が強まるなど、先行きは依然不透明な状況となりました。当社グループの事業領域であるエレクトロニクス業界におきましては、半導体や電子部品の需給逼迫が続き、その向け先となる自動車や電子機器等の生産に影響を及ぼしました。また、国内のICT業界におきましては、DX(Digital Transformation)推進ニーズの強まりを背景に、システムのクラウド化やサブスクリプションモデルの普及が進みました。

このようななか、当社グループにおきましては、事業構造改革による収益力向上と成長市場での事業拡大に向け、デバイス事業では既存事業の拡大と新しい収益基盤の確立、ソリューション事業ではサービス提供型ビジネスの拡大やデジタル技術の拡充に努めるとともに、顧客基盤の拡大にも注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は829億94百万円(前年同期比45.5%増)、営業利益は42億47百万円(前年同期比215.5%増)、経常利益は29億34百万円(前年同期比155.8%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億60百万円(前年同期比173.7%増)となりました。

なお、連結会社間での収益及び費用の内部取引におきましては、親会社の取引は取引発生時のレートまたは為替予約レートにより換算し、在外子会社の取引は期中平均レートにより換算して相殺消去しております。当第2四半期連結累計期間は大幅な円安の進行に伴い、相殺消去する費用が対応する収益を大きく上回ったため営業利益は増加しておりますが、同額が営業外費用の為替差損として調整されており、経常利益への影響はありません。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体(システムLSI、マイコン、パワー半導体、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等)や電子部品(コネクタ、コンデンサ、液晶パネル等)の販売に加え、ソフト開発やモジュール開発等の技術サポートを行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、電子部品の販売が堅調に推移したことに加え、商権の拡大や家庭用ゲーム機向けの販売好調により海外半導体の売上高が増加しました。また、円安基調で推移した為替相場も追い風となりました。この結果、売上高は777億52百万円(前年同期比50.0%増)となりました。損益面につきましても販管費の増加があったものの、増収効果により、セグメント利益は26億58百万円(前年同期比216.4%増)となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、ICTを利活用したネットワーク機器やセキュリティ製品をお客様の環境に合わせ設計・構築し、運用保守に至るまでワンストップにて提供しております。また、販売・生産管理をはじめとした基幹系業務システムや、人事・給与・会計等のアプリケーションをオンプレミスからクラウドまで様々な形態で提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、組み込みシステム分野や映像システム分野は好調に推移したものの、その他の分野は前連結会計年度から続く半導体等の需給逼迫に起因した製品の納入遅延等により、総じて販売が低迷しました。この結果、売上高は52億42百万円(前年同期比0.9%増)となりました。損益面につきましては販管費が増加したことから、セグメント利益は2億75百万円(前年同期比10.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて234億8百万円増加し、962億17百万円となりました。これは主に売上債権の増加128億68百万円、商品の増加93億82百万円等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて196億19百万円増加し、617億44百万円となりました。これは主に短期借入金の増加133億62百万円、仕入債務の増加56億81百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて37億88百万円増加し、344億72百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加25億10百万円、利益剰余金の増加12億98百万円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、売上債権の増加及び棚卸資産の増加等による支出が短期借入金等による収入を上回り、前連結会計年度末に比べて23億6百万円減少し、70億1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加及び棚卸資産の増加等による支出が、仕入債務の増加等による収入を上回り、126億58百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べて、支出が110億29百万円増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等による収入が有形固定資産の取得等による支出を上回り25百万円の収入となりました。その結果、前第2四半期連結累計期間が35百万円の支出であったことから、61百万円の収入増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等による収入が配当金の支払等の支出を上回り100億52百万円の収入となりました。その結果、前第2四半期連結累計期間が148億23百万円の支出であったことから、248億75百万円の収入増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降につきましては、デバイス事業においては半導体等の需給逼迫を背景に業績を牽引していた案件が時限的に取り扱っていたものを含め一部収束する見込みです。ソリューション事業においても需給逼迫に伴うサーバーや通信機器など一部製品の納入遅延等の懸念があります。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗や足元の状況、為替やウクライナ情勢等による影響度合いの評価を踏まえ2023年3月期連結業績を当初予想(2022年5月20日発表)から下記の数値に上方修正することといたしました。

また、1株当たりの配当額の予想数値につきましても、2023年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値を上方修正したことから、当社の配当に関する基本方針を踏まえ期末配当予想を下記の数値に上方修正することといたしました。詳細は本日公表の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(2023年3月期連結業績予想)

売上高	1,556億円	(前期比25.9%増)
営業利益	62億円	(前期比47.3%増)
経常利益	45億円	(前期比26.4%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	33億円	(前期比30.7%増)
期末配当	1株当たり105円	(中間配当を含めた年間配当金は1株当たり135円)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,307	7,001
受取手形、売掛金及び契約資産	34,908	47,839
電子記録債権	957	894
商品	19,732	29,114
半成工事	0	40
その他	1,583	5,063
貸倒引当金	△29	△43
流動資産合計	66,459	89,910
固定資産		
有形固定資産	2,652	2,615
無形固定資産	461	422
投資その他の資産		
その他	3,282	3,323
貸倒引当金	△47	△53
投資その他の資産合計	3,235	3,269
固定資産合計	6,349	6,307
資産合計	72,809	96,217
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,455	20,136
短期借入金	24,426	37,788
未払法人税等	602	867
引当金	653	557
その他	1,492	1,948
流動負債合計	41,630	61,299
固定負債		
退職給付に係る負債	158	146
その他	335	299
固定負債合計	494	445
負債合計	42,125	61,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
利益剰余金	22,654	23,953
自己株式	△8,773	△8,760
株主資本合計	28,692	30,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	575
繰延ヘッジ損益	△117	△160
為替換算調整勘定	1,512	4,022
退職給付に係る調整累計額	△23	△35
その他の包括利益累計額合計	1,937	4,401
非支配株主持分	53	67
純資産合計	30,683	34,472
負債純資産合計	72,809	96,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	57,047	82,994
売上原価	51,279	73,826
売上総利益	5,767	9,168
販売費及び一般管理費	4,421	4,920
営業利益	1,346	4,247
営業外収益		
受取利息	9	12
受取配当金	25	23
その他	47	45
営業外収益合計	82	81
営業外費用		
支払利息	52	208
売上割引	5	9
自己株式取得費用	21	—
為替差損	169	1,161
その他	33	15
営業外費用合計	281	1,395
経常利益	1,147	2,934
特別利益		
投資有価証券売却益	0	31
特別利益合計	0	31
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	1,147	2,963
法人税、住民税及び事業税	231	816
法人税等調整額	132	△26
法人税等合計	363	789
四半期純利益	783	2,174
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	789	2,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	783	2,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	7
繰延ヘッジ損益	94	△42
為替換算調整勘定	132	2,510
退職給付に係る調整額	0	△11
その他の包括利益合計	170	2,464
四半期包括利益	954	4,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	959	4,624
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,147	2,963
減価償却費	118	150
のれん償却額	13	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12	7
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	△3	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△22	△37
受取利息及び受取配当金	△34	△36
支払利息	52	208
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△29
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,405	△7,693
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,057	△7,487
仕入債務の増減額 (△は減少)	542	3,187
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,762	△3,147
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20	9
その他	△489	9
小計	△1,385	△11,882
利息及び配当金の受取額	38	39
利息の支払額	△51	△208
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△229	△606
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,628	△12,658
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21	△27
ソフトウェアの取得による支出	△15	△18
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	72
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35	25
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,575	10,954
リース債務の返済による支出	△38	△44
自己株式の純増減額 (△は増加)	△15,743	△0
配当金の支払額	△616	△856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,823	10,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	273
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,505	△2,306
現金及び現金同等物の期首残高	25,544	9,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,038	7,001

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	51,851	5,196	57,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	51,851	5,196	57,047
セグメント利益	840	306	1,147

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	77,752	5,242	82,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	77,752	5,242	82,994
セグメント利益	2,658	275	2,934

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。